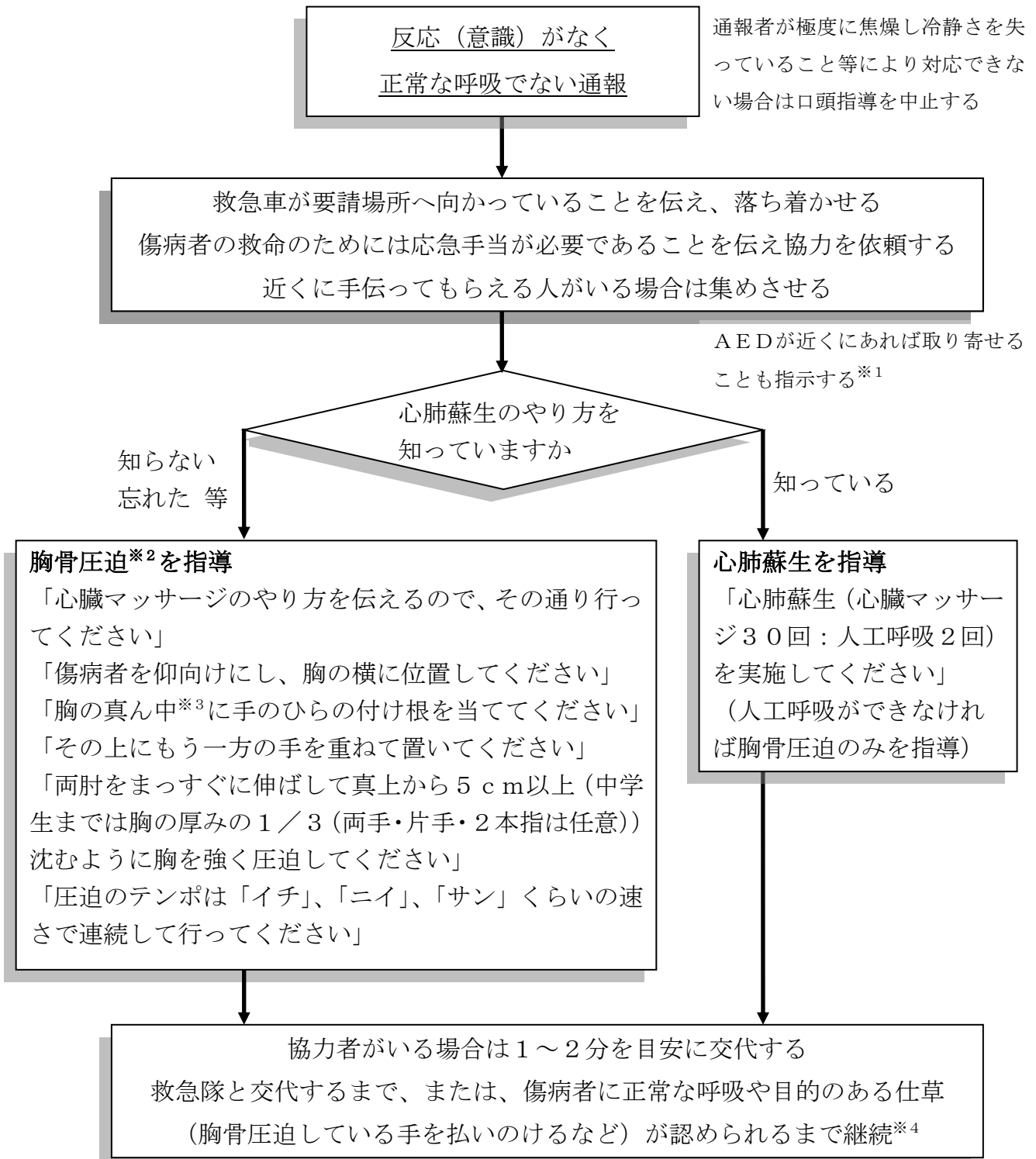


心肺蘇生法（全年齢対象）



通報者が極度に焦燥し冷静さを失っていること等により対応できない場合は口頭指導を中止する

AEDが近くにあれば取り寄せることも指示する<sup>※1</sup>

※1 AEDが現場に届けば直ちに使用させる

※2 心肺蘇生の「胸骨圧迫」という文言が普及しきれていないため、「心臓マッサージ」を用いてもよい

※3 胸骨圧迫部位の指導で「胸の真ん中」で部位が伝わらない場合、「乳頭を結ぶ線の真ん中」、「胸骨の下半分」などを用いてもよい

※4 効果がみえなくても継続するよう指導する